

### 11/22 第3回夫婦の手紙・絵手紙コンクール表彰式

菊池市が募集した「夫婦の手紙・絵手紙コンクール」の入賞者が決まり、その表彰式が「いい夫婦の日（11月22日）」に菊池夢美術館で行われました。

菊池市は、地名の「隈府（ワイフ）」と英語の「wife（ワイフ＝妻）」との語呂合わせ、さらに「美肌の湯・化粧の湯」とも呼ばれ女性に人気がある菊池温泉をアピールしながら「おしどり夫婦の里」、「妻（女性）を大切にすまち」としてのイメージづくりに取り組んでいます。その一環として平成17年からこのコンクールをはじめたもので、県内はもとより、九州、中国地方から、手紙の部に60点、絵手紙の部に524点の応募がありました。

当日は、夫婦の手紙大賞の河津ハルエさんほか23人の入賞者に賞状と副賞が贈られ、受賞者を代表して河津さんが「天国のあなたへ」と題した作品を朗読すると、河津さんのご主人に対する想いが伝わり思わず涙ぐむ人も見られました。

応募作品全部は、1月9日（※1月1日は休館日）まで菊池夢美術館に展示されています。



「天国のあなたへ」の手紙を読む河津ハルエさん（上）、夫婦の手紙大賞に選ばれた河津ハルエさんの作品（右）最優秀賞（絵手紙部門）に選ばれた谷口ハツ子さんの作品（左）

### 11/18 熊本県下勤労青少年ホームスポーツ交流会バドミントン大会

熊本県下勤労青少年ホームスポーツ交流会バドミントン大会（熊本県下勤労青少年ホーム連絡協議会、熊本県勤労青少年育成事業実行委員会共催）が、水俣市立総合体育館南部館でありました。

菊池市勤労青少年ホームから「楽悠會」の1チームが参加し、Bクラスの部で見事優勝しました。メンバーは「優勝できて嬉しいです。来年はAクラスの部に挑戦したいです」と喜びを話してくれました。



優勝した楽悠會のメンバー

### 11/18(日) 第2回熊本県中学生新人空手道大会兼、平成19年度文部科学大臣旗争奪第2回はまなす杯全国中学生空手道大会予選会

熊本県中学生新人空手道大会が、マリスタ高校で行われました。形・組手の部とも、素晴らしい成績を取めた拓魂塾所属の泗水・菊池北中・七城中の6人の選手が、来年3月28日から3日間、北海道北広島市総合体育館で開催される全国大会へ出場します。上位の結果は次のとおりです。（敬称略）

**形の部** 1年男子 3位 益崎 豊（菊池北中）、1年女子 優勝 田代真麻（泗水中）、2年男子 優勝 中島弘樹（泗水中）、2年男子 4位 田代庸祐（七城中）

**組手の部** 1年男子 3位 岩永直也（菊池北中）、2年女子 3位 松本めぐみ（泗水中）



優秀な成績を取めた選手たち

### 11/4(日) 第11回親子ビーチボールバレー大会 11/12(月) 第8回親子ふれあいミニバレー大会

旭志くらだけ友の会（菊池市子ども会育成協議会旭志支部）主催による親子ビーチボールバレー大会が旭志体育館でありました。ビーチボールバレーを通して、会員相互の親睦を図り、親子のふれあいを深めることを目的としたもので、旭志地域内の小学生とその保護者13チーム・約180人が集まり、熱戦が繰り広げられました。上位の結果は次のとおりです。

**優勝** 桜ヶ水、**準優勝** 尾足、**3位** 岩本、**3位** アタックNo.1



親子ビーチボールバレー大会で優勝した桜ヶ水

旭志体育館であった、親子ふれあいミニバレー大会



また、同会主催の親子ふれあいミニバレー大会が旭志体育館でありました。「ミニバレーを通して親子の絆をより一層深め、もって青少年の健全育成を図る」の趣旨のもと、旭志地域内の中学生とその保護者30チーム・約210人と旭志中学校の先生2チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。上位の結果は次のとおりです。

**優勝（コート優勝）** Aコート 伊萩A、Bコート 妻越2-1、Cコート 旭志中ヤングーズ、Dコート 旭志中オールスターズ、Eコート 高永1年、Fコート 桜ヶ水

### 11/16(金) 隈府小学校で文部科学省指定事業の研究発表会

隈府小学校（高村秀夫校長）で、県内の小・中学校の先生や行政関係者、地域の人などが参加して学力向上拠点形成事業の研究発表会がありました。クラスごとの公開授業や全体会を通して、これまでの取り組みが発表されました。

1年1組では、各クラスごとに毎朝20分間取り組んでいる「いきいきタイム」のひとつとして、「13ひく3のけいさんのしたかをせつめいしよう」を考え、発表しました。1人の児童が黒板の黄色いブロック13個を使い「13を10と3に分け、次にバラの3から3を引いて0。10と0で答えは10です」と説明。発表した児童に対して全員で「あっています！」と元気な声で応えていました。

高村校長は「子どもたちが元気に学習している様子が見え発表できました」と話されました。

同校は、平成17・18・19年度の3年間、文部科学省が指定する「学力向上拠点形成事業」の指定を受けており、全国に先駆けて算数指導のあり方の研究・実践に取り組んでいます。



公開授業で「13ひく3」の計算方法をブロックを使い説明する児童

### 11/17(土) 七城町食味会(米)

七城メロンドームで、新米（品種・ヒノヒカリ）の食味会が行われました。これは、米生産者が食味向上の意識を持ち地域全体の底上げとなるよう平成16年度より七城地域で行われているものです。

普通栽培の部、特別栽培の部（減農薬など）の2部門に24点の出品があり、食味計審査での上位各5点が予選会を通過し、本選では食味鑑定士2人と当日の一般来館者50人により、5項目（味、香り、外観、粘り、硬さ）を基準に審査が行われました。入賞者は次のとおりです。（敬称略）

**普通栽培の部**

- 最優秀賞 長尾良久（宮園区）
- 優秀賞 高木良精（五海区）、村上隆男（台区）

**特別栽培の部**

- 最優秀賞 村田俊一（清水区）
- 優秀賞 栃原清一（高田区）、山下正行（加恵区）



七城メロンドームであった食味会で、新米を口にしている一般来館者の審査員